

2025年7月海洋観測結果について

7月1日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ(<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>)と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

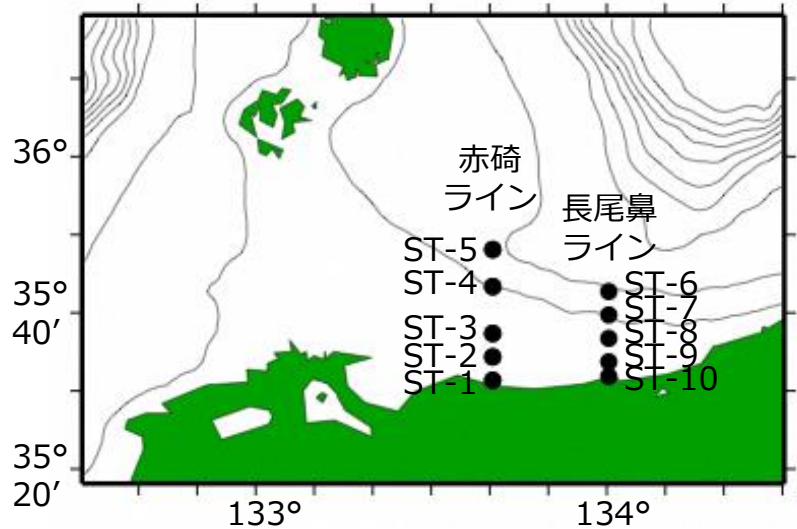


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は25℃台に昇温していました。水深50m～100mも同様に昇温しており、17～20℃台でした。

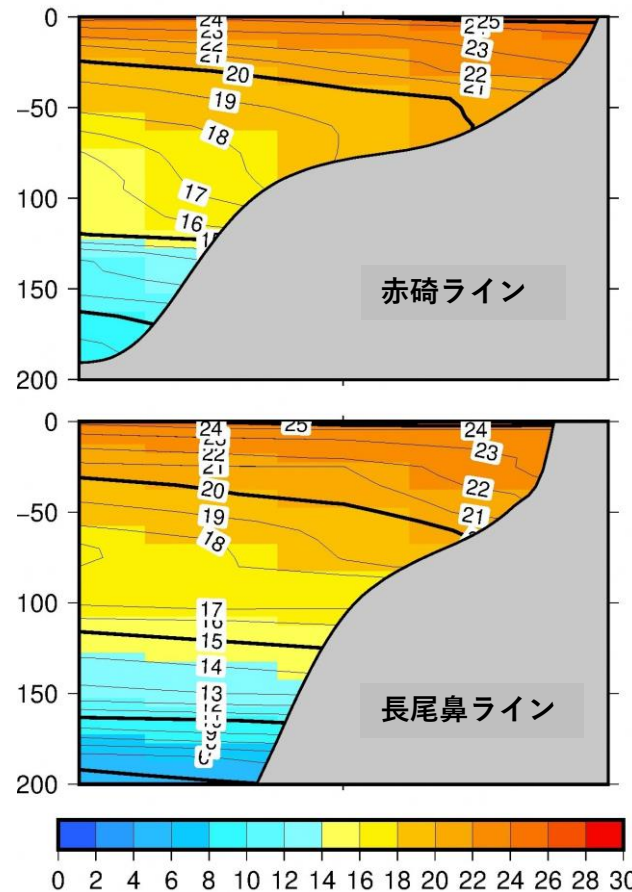


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

2025年7月観測時点では、0mでは赤碕・長尾鼻ともに平年より2.0～2.6℃高くなっていました。また赤碕の50m以深では平年より0.1～0.3℃低めとなっている一方で、長尾鼻の同深度帯では0.1～0.8℃（表2）高くなっていました。

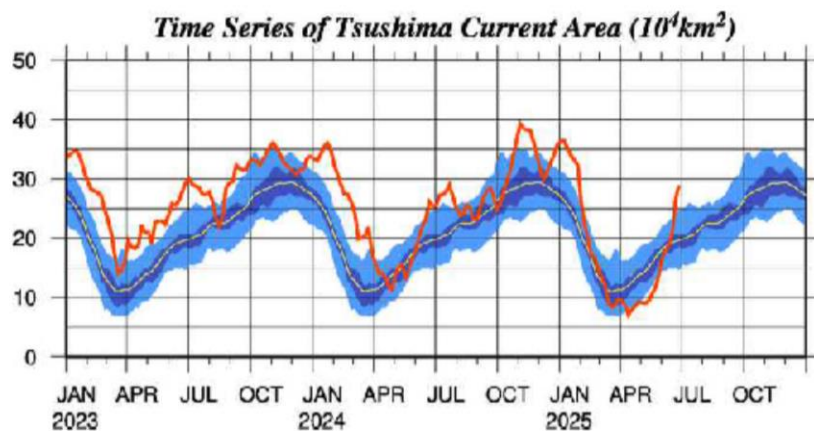
表層水温が平年より高い理由として、平年に比べ6月下旬の平均気温が3℃高く、また同時期に対馬暖流の勢力の急激な拡大があったことが影響していると考えられます（図2）。

また水温はここ2週間程で急激に変化しており、今年は6月の海水温が比較的低かったため広くにワカメが繁茂していましたが、急激な水温上昇により一挙に枯れ始めているとのことです。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2025年	25.0	21.0	19.4	17.0	25.6	21.4	20.1	17.6
前年	24.4	23.7	22.4	18.7	23.7	23.4	22.1	18.6
2011-24年平均	23.0	20.8	19.5	17.3	23.0	20.6	19.4	17.5
平年差	2.0	0.2	-0.1	-0.3	2.6	0.8	0.8	0.1

図2 対馬暖流の勢力図



（気象庁HPより）

参考

気象庁.“対馬暖流の勢力の時系列”.海流に関する診断表.気象庁.

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/tsushima/tsushima_area.html,(参照2025-07-04)